



資材コスト削減の取組

低コスト!! ベンガラモリブデン被覆種子湛水直播

水稲の生産費の大きな割合を占める「労働費」「農機具費」「賃借料等」は規模拡大に伴い作業効率の向上により減少されます。水稲生産における労働時間のなかで1/4を占めている「育苗・田植」作業は規模拡大による低減効果が低く課題となっています。

水稲直播栽培は省力低コスト技術として近年、全国各地で普及しています。

「ベンガラモリブデン被覆種子」(ベンモリ)は、カルパーと比較し資材代が安く被覆作業が簡便で、モリブデン添加により根に有害な硫化物イオンの生成を抑制し、苗立ちの安定化が期待できるといわれ、各地で栽培が始まっています。

西部地区でも今年から一部圃場でベンモリ直播に取り組んでおります。

4品種(あきたこまち、萌えみのり、ぎんさん、金のいぶき)
ベンモリ資材も0.1倍、0.3倍で播種比較しています。

【従来からのカルパーとの比較】(農家の方のコメント)

- ・苗立ちの状況はカルパーよりやや遅く感じる。
- ・0.1倍では比重が軽いいためか播種時に種子浮きやすく調整難しい。
- ・0.3倍では種子の重量が増し播種しやすいが、播種に適した圃場条件の調整が必要。
- ・資材単価が安価(1/2以下)
- ・農薬カウントされないので減農薬減化学肥料栽培の資材として有望。



ベンモリ資材は被覆比が低くカルパーと比較して資材代が安価

被覆する資材量が種子の0.1~0.3倍重と少ないためコスト削減につながる。

【過酸化カルシウム粉剤との比較】

- ・被覆が容易、剥離少ない、資材費が安価
- ・生育促進効果がない(農薬に該当しない、播種深度が深いと生育遅い)

【鉄コーティングとの比較】

- ・土中播種(鉄コーティングは表面播種)
- ・被覆後に発熱しない(放熱管理不用、催芽種子を利用可能)
- ・スズメの食害には効果なし

KSK28 (水溶性ケイ酸28%、水溶性カリ17%)

流し込みタイプの液体ケイ酸カリ肥料の普及がすすんでいます。

【水稲へのケイ酸施用の効果】

病気に強くなる、倒伏の低減、光合成能力を高め、収量性を向上
幼穂形成期以降に10アール当たり0.7~1.4kg使用を1~2回散布
水口使用の場合は10aあたり1.4kg
中干し後に水口からの流し込み(流し込み後、3日間止水)
酒米、金のいぶき等で多く使用されてきています。